

教えて!

富山 けいざい



「子連れ出勤って?」

◆職場で子育て支援/周囲の協力不可欠

Q-何のことかな。

A-従業員が子どもと一緒に出勤して仕事をする取り組みです。「カンガルー出勤」とも呼ばれます。子どもを職場に預けたり、子育てをしながら働いたりすることで、子育てと仕事を両立する働き方の一つです。政府は2019年1月に「子連れ出勤」を後押しする方針を示しました。

Q-具体的にどんな働き方をしているの。

A-子連れ出勤は職場の環境や状況に合わせて、企業が就業規則などで独自に定めています。対象は乳幼児だったり小学生以上だったり、一律ではありません。乳児を抱っこしながら仕事をする職場もあれば、空いている部屋を一時的な託児室として利用する企業もあります。預け先が見つからない場合や、学級閉鎖などの緊急時に限り条件付きで認める場合など、取り組みはさまざまです。



Q-メリットはなあに。

A-出産や育児を理由に離職する女性従業員は少なくありません。子連れ出勤という選択肢が増えることで、育児のために退職を選択せざるを得なかった従業員が仕事を続ける可能性が高まります。

また、子育てしながら働くことのできる環境づくりは新たな人材確保にもつながります。一方、職場に子どもがいると仕事に集中できないといった声もあり、周囲の理解や協力が不可欠です。子どもの安全や健康面に配慮した環境整備も必要でしょう。

Q-県内での取り組みは。

A-県は仕事と子育てが両立できる職場の環境づくりで成果を上げている企業を「子宝モデル企業」として表彰しています。これまで取り組みは限定的でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う小中学校の臨時休校で、緊急措置として子連れ出勤に対応するところも増えてきました。今後、働き方改革の選択肢の一つとして、動きが広がるかもしれません。

(北陸経済研究所の吉田聡子が解説しました。随時掲載します)